

公益財団法人 佐賀市文化振興財団

事業改善計画

令和3年度～令和7年度

## 1. 令和3年度以降の財団運営の方向について

財団は、令和3年度から5年間、佐賀市文化会館と佐賀市立東与賀文化ホールの2施設の指定管理業務を安定的・効率的に行い、市民の誰もがいつでも文化施設を利用し、安心して文化芸術活動ができるように施設の利便性の向上や市民への文化情報の発信をする。

財団は31年間の佐賀市文化会館の管理運営実績があり、蓄積した文化施設運営のノウハウを発揮し、「佐賀市文化振興基本計画」に則り、地域の文化振興を支え、育み、佐賀市においての市民文化活動の活性化を図る。

佐賀県のSAGAサンライズパーク整備事業が「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」開催に向けてすすめられており、財団は佐賀市と連携してSAGAサンライズパークの整備・活用に協力することが求められている。また、文化会館はSAGAサンライズパークとデッキで結び、国道263号からの入口交差点や広場の改修等の工事計画があり、整備期間中の文化会館利用者への影響をできる限り少なくするよう対応する必要がある。

## 2. 財団の役割

『設立趣意書』 「…芸術性の高い自主文化事業を実施し、加えて、文化会館の効率的かつ弾力的な管理運営をはかりながら、市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与すること…」(平成元年3月)

『定款』 「第3条 この法人は佐賀における市民の芸術及び文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造と市民福祉の増進に寄与することを目的とする。」(平成23年2月)

財団の使命は、①施設の役割を十二分に発揮させること、②施設と人、人と人とを結び付け地域の活力を生むことである。

市民の文化活動の拠点となる文化会館・東与賀文化ホールの機能をハード、ソフト両面において十分に生かしていく。

財団は、文化施設運営の特殊性、専門性に的確に対応できる組織として、佐賀市と連携して市の文化振興施策の実現に寄与していく。

現在、財団では、ホール等の施設の貸与はもちろん、芸術文化鑑賞機会の提供のための公演や、芸術文化に係る体験活動等の主催事業の実施によって、芸術文化の鑑賞及び活動機会の提供を行っている。

※文化会館は、コンベンション（全国大会等）を開催できる佐賀県内最大規模の施設であり、毎年大規模行事で使用され観光や商業、地場産業などを含めた経済活動に好影響を与えている。情報収集しながら、早期受付の対応をしている。

コンベンションの件数

(単位:件)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
全国大会	5	3	2	5	5	0
九州大会	4	6	7	5	7	0
計	9	9	9	10	12	0

### 3. 事業改善計画の策定の趣旨

佐賀市文化振興財団は平成元年に佐賀市によって設立され、佐賀における芸術文化活動の振興を図るため、佐賀市から受託する文化施設の運営と一体的に、広範な種類の質の高い芸術文化に親しむ機会を提供してきた。

平成15年9月に地方自治法の一部改正が施行され、公の施設の管理・運営を地方自治体が指定する指定管理者（これまでの公共的団体だけでなく、民間事業者、NPO法人等も指定可能）に代行させる「指定管理者制度」が導入された。

佐賀市の公共施設においては、平成18年4月に指定管理者制度が導入され、併せて行財政改革が進められた。これに対し当財団は、地域の文化振興という法人の目的のための事業を遂行するとともに、経費の節減とサービス拡充に努めてきた。平成28年度からは佐賀市文化会館と東与賀文化ホールを指定管理者として運営してきており、更なる事業の効率・能率化と事業内容の充実が期待されている。

一方では公益法人制度改革が進められており、当財団は平成23年2月に公益財団法人への移行を完了し、新公益法人制度の法律に基づく新体制での事業を始めている。今後は公益事業を適正に実施し得る公益法人として佐賀県の認定を受けたことから、公益の増進及び活力ある社会の実現のために公益を目的とする事業（文化及び芸術の振興）を実施し、かつ公益法人の要件を堅持していかなければならない。

また、近年の豪雨災害や新型コロナウイルス感染症は、地域文化へ大きな影響を与えており、社会のあり方や人の絆、地域のつながりを見つめなおす契機となっている。

このように経済・社会情勢が変化する中で、多様化した社会ニーズや様々な状況の変化に対処し、より多くの人々が芸術文化に触れる機会を充実させるため、令和3年度から令和7年度の事業改善計画を策定する。

#### 4. 平成 28 年度～令和 2 年度指定管理の実績について

##### □指定管理 3 期目の実績

自主文化事業は、文化会館・東与賀文化ホールとも入場者数・主催事業実施件数は目標を超えて実施しており、学校や公民館、福祉施設などでのアウトリーチ・文化体験をするワークショップも両施設で実施できている。また、文化人材登録制度の活用推進を図り、佐賀市在住アーティストなどへの発表の機会の提供も行っている。

佐賀市と協力して実施している市民芸術祭は、令和 2 年度で 8 回目となり更なる広がり期待されている。

自主文化事業収入の増加に努め、収支の改善に努めた。11 の市内企業等からの助成金については、財団の実施するワークショップ・アウトリーチ等の趣旨を理解していただき継続して助成金獲得に努めている。

施設管理は、利用者サービスと安全確保に努め、経費の縮減を図りながら確実な維持管理を行った。文化会館の施設・設備の老朽化に対しては、佐賀市と協力して年次計画を作成し、順次改修にとりかかっている。

また、情報誌やホームページで施設の PR 等を行い、利用者数、稼働率、入場料金収入等は、令和元年度上半期までは良好な実績をあげている。

令和 2 年 2 月からは、新型コロナウイルス感染症対策により、文化会館・東与賀文化ホールにおいて消毒液設置や施設内での感染症広報を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で、利用料金収入は減収となり、文化事業の実施についても困難な状況が続いている。

##### 施設利用者数の推移

(単位:人)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度
文化会館	377,389	390,024	430,193	419,067	381,636	101,666
東与賀	24,726	38,999	65,214	57,405	56,468	23,346

##### 施設稼働率の推移

(単位:%)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度
文化会館	70.27	72.47	76.46	72.36	69.91	42.30
東与賀	35.84	46.74	60.37	58.99	59.27	42.72

利用料金・指定管理料・民間助成金収入額の推移

(単位:千円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
・利用料金						
文化会館	105,730	105,730	113,345	111,078	118,253	47,011
東与賀	4,548	4,702	6,204	5,662	6,633	3,388
・指定管理料						
文化会館	149,559	139,007	148,745	146,811	146,628	185,400
東与賀	23,298	40,935	41,122	41,122	41,875	46,488
・民間助成金	4,775	2,750	3,745	3,400	3,400	3,400

主催事業の推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
・文化会館						
入場者数(人)	20,141	11,244	21,996	21,399	21,097	2,280
事業数(件)						
主催事業	15	13	15	16	15	9
ワークショップ	3	3	5	3	3	3
アウトリーチ	10	12	12	12	10	10
・東与賀						
入場者数(人)	1,055	3,001	5,635	5,628	4,665	2,297
事業数(件)	—	12	15	16	13	14

財産の状態の推移

(単位:千円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
正味財産	28,791	39,514	40,625	19,540	8,512	13,212

5. 法人運営における目標

当財団の法人運営の目標は定款の目的「佐賀における市民の芸術及び文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造と市民福祉の増進に寄与すること」であり、佐賀市から受託する佐賀市文化会館・東与賀文化ホールの運営事業を着実に進め、従来の運営

方法などを社会情勢の変化に対応し、柔軟な発想で新しい取組みを行っていく。

文化会館は、県内最大規模の文化施設であり芸術性の高い舞台公演から地域の一般市民の文化活動までを実施することができ、全国大会などのコンベンションにも対応する。

東与賀文化ホールは、より地域密着型の文化施設として、地域の絆やコミュニティづくりを目的に、住民の参加・交流を促す文化芸術活動、舞台芸術鑑賞機会を提供し、地域の人に社会参加の機会を開く「新しい広場」の役割を果たす。

また、公益法人として組織の規律を高め、法人の活動について積極的に外部に説明を行っていく必要がある、自主文化事業を充実させ、財務面では公益活動に必要な資金を確保しつつ、効率的で円滑な運営を行い、実務及び研修を通じて法人運営・事業運営・施設管理に関わる専門人材を育成していかなければならない。

## 6. 事業改善目標

上記法人の目標を踏まえて、佐賀市の芸術文化振興を柱に「芸術文化の鑑賞機会及び芸術文化の活動機会」を提供し、利用者サービスの向上と安全確保のため以下の目標を設定する。

### 1) 施設管理に関すること

施設の立地特性や役割、市民ニーズの調査に基づいた経営と利用者の声に耳を傾け、利用者の視点に立った柔軟な運営を行い、あらゆる場面で、お客様を心地よく迎える接客やマナーを心がける。

#### ① 施設の利用促進

- ・文化会館・東与賀文化ホールの施設情報を積極的にホームページ・SNS・広報誌等でPRする。
- ・地域の文化芸術団体やプロモーターとの関係づくりから利用団体を増やす。
- ・地域の芸術家や専門家にさまざまな発表の機会を提供し、市民の文化の鑑賞機会を増やす。

#### ② 維持管理、コスト削減

- ・施設の清潔な維持や省エネの取り組みなど引き続き実施し、全職員がコスト削減の意識を高める。
- ・建物・設備の保守点検は、業務ごとに専門業者に委託し、施設利用に支障が出ないように実施し、安全確保に努める。
- ・施設設備の劣化・老朽化を整理し、佐賀市と協力して改修計画を作成する。

施設入場者数の目標

(単位:人)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
文化会館	381,636	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
東与賀	56,468	36,000	41,000	46,000	51,000	56,000

施設稼働率の目標

(単位:%)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
文化会館	69.91	72.00	72.00	72.00	72.00	72.00
東与賀	59.30	38.80	43.80	48.80	53.80	58.80

2) 文化事業に関すること

佐賀における多彩なすぐれた芸術の鑑賞機会、芸術文化活動機会を充実させるための文化事業として「主催公演事業」と「体験活動事業」を企画・制作・実施することで佐賀市における芸術文化に触れる機会の充実を図る。

文化会館	東与賀文化ホール
① 主催事業 質の高い舞台芸術公演を実施	① 鑑賞事業 地域の皆様が気軽に楽しめるように 廉価な料金設定により、国内外で活躍しているアーティストを招きコンサートを 実施
② ワークショップ事業 主に児童・生徒を対象に気軽に芸術に 触れ、体験できるプログラムを提供	② ワークショップ事業 主に児童・生徒を対象に気軽に芸術に 触れ、体験できるプログラムを提供
③ アウトリーチ事業 市内小中学校、福祉施設などホール以 外の場所で、多様な市民が芸術や文化に 触れる機会を提供	③ 支援協力事業 地域の文化サークルの作品展示やホ ールを使つての文化祭等の地域特性を 活かしたイベントの開催支援
④ 佐賀市民芸術祭 佐賀市民芸術祭は、文化関係者、佐賀市及び当財団で組織する佐賀市民芸術祭実 行委員会の事務局を財団が担当し、佐賀市民芸術祭の企画・実施を通して多くの市	

民へ多彩で良質な芸術を鑑賞する機会と、文化芸術活動の成果を披露する機会を設けることにより、全市が一体となった文化の振興を図ります。

地域の芸術家や地元出身の芸術家等を起用する企画により、地域の芸術家・芸術団体、新進の芸術化・芸術団体の創造活動を支え、育みます。

文化事業入場者数の目標

(単位:人)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
文化会館	21,097	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
市民芸術祭	12,900	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
東与賀	4,665	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400

事業数の目標

(単位:件)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
主催事業	15	12	12	12	12	12
ワークショップ	3	3	3	3	3	3
アウトリーチ	10	12	12	12	12	12
東与賀	13	12	12	12	12	12

### 3) 財務に関すること

佐賀における芸術文化の振興事業を効率的に実施するため事業収入（文化事業、利用料金、指定管理料）の確保に努め、法人の財務基盤を強化する。

#### ① 収入の確保

- ・市内企業からの協賛金、国や関連団体及び文化芸術を支援する公益法人等による助成金等を獲得する。
- ・施設の空き日をホームページで公開するなど利用者への情報提供に努め、利用日数・稼働率を向上させることにより、利用料金の安定的収入の増を図る。
- ・地元企業や商店街等と連携し、情報伝達やチケットの販売経路を開拓する。

#### ② 経費の縮減

- ・一般照明の操作による節電、適切な空調管理等、電気・ガス・水道の適正使用で



- 省エネルギー・節水に努める。
- ・入札、見積りなど適正に実施する。

利用料金収入額の目標

(単位:千円)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
文化会館	118,253	112,928	113,000	113,000	113,000	113,000
東与賀	6,634	4,600	5,100	5,600	6,100	6,600

指定管理料の目標

(単位:千円)

	R1 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標	R7 年度目標
文化会館	146,628	148,666	148,666	148,666	148,666	148,666
東与賀	41,875	46,784	46,784	46,784	46,784	46,784